

令和 2 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	文化交流センター事業	会計名称	一般会計			担当課	社会教育課	
		予算科目	10 款 5 項 7 目	事業番号	4893	所属長名	泉一人	
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)					担当責任者名	田村政幸	
法令根拠等	伊予市文化交流センター条例					実施期間	【開始】	令和/平成 1 年度
総合計画での位置付け	生涯教育都市の創造 生涯にわたり学習できる環境づくり						【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	文化活動の推進							
事業の対象	市民			事業の目的	より多くの市民が文化・芸術に対する関心を高められるよう、優れた文化活動や芸術作品に接する機会を提供し、また、市民が自由に活発な芸術活動ができる環境づくりを行う。			
事業の内容 (整備内容)	・市民総合文化祭支援・市民和太鼓楽団発足支援・文化ホール関係イベント支援他			昨年度の課題に対する具体的な改善策	なし			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2年度予定	9月末の実績	2年度実績
直接事業費	2,718	5,873	△ 2,495	0	0	3,179	市民文化祭	人	10379	500	0	4439
財源内訳	0	0	0	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	845	0	0	0	0	文化交流センター自主事業	人	106	150	241	3355
一般財源	2,718	5,028	△ 2,495	0	0	3,179						
職員の人工(にんく)数	1.10	1.10				1.10						
1人工当たりの人件費単価	7,992	7,812				7,812			0			
※ 直接事業費+人件費	11,509	14,466				11,772						
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		報償費、負担金				0			
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	5年間の合計		
					5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000		
成果指標	指標	活動指標事業の参加者数	単位	人	⇒	区分年度	前 年度	2 年度	3 年度	目標 毎 年度		
	指標設定の考え方	本施設の基本理念「学び はぐくみ つながる 出会いのひろば」を目指し、取組む文化芸術活動等各種イベントへの参加者により、関心度・貢献度を計る。		目標		10100	650	3000	4000			
	指標で表せない効果	中心市街地活性化への効果、中山・双海地域との連携効果など		実績		10485	7794					

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		コロナ禍にあって、受講生を募集する事業の実施は困難が予想される。												
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が	S	事業成果・工夫した点	S	コロナ禍にあって体験や学びの欲求度は高く、当初より懸念のあった講座受講生の募集は、予想に反して多くのお申込みをいただき、企画した講座等は概ね好評をいただいた。また、複合施設としての強みを生かすべく、特に文化ホールと図書館とのコラボでは、周辺ホールには無い新たなイベントも企画・実施することができた。				
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に对应しておらず、見直しが必要である。	5									
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	4									
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が								
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4									
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多大である。	4									
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A	事業の苦勞した点・課題							
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4										
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	4										
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4				合計点が		A	事業の方向性	A	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 文化行政として、文化芸術団体の育成及び質の高い文化芸術の提供など文化振興等の充実について、今後も継続実施する必要がある。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に对应しておらず、見直しが必要である。	4									
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	3									
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が									
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3										
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多大である。	4										
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	A	所屬長の課題認識								
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4											
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	3											

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	